

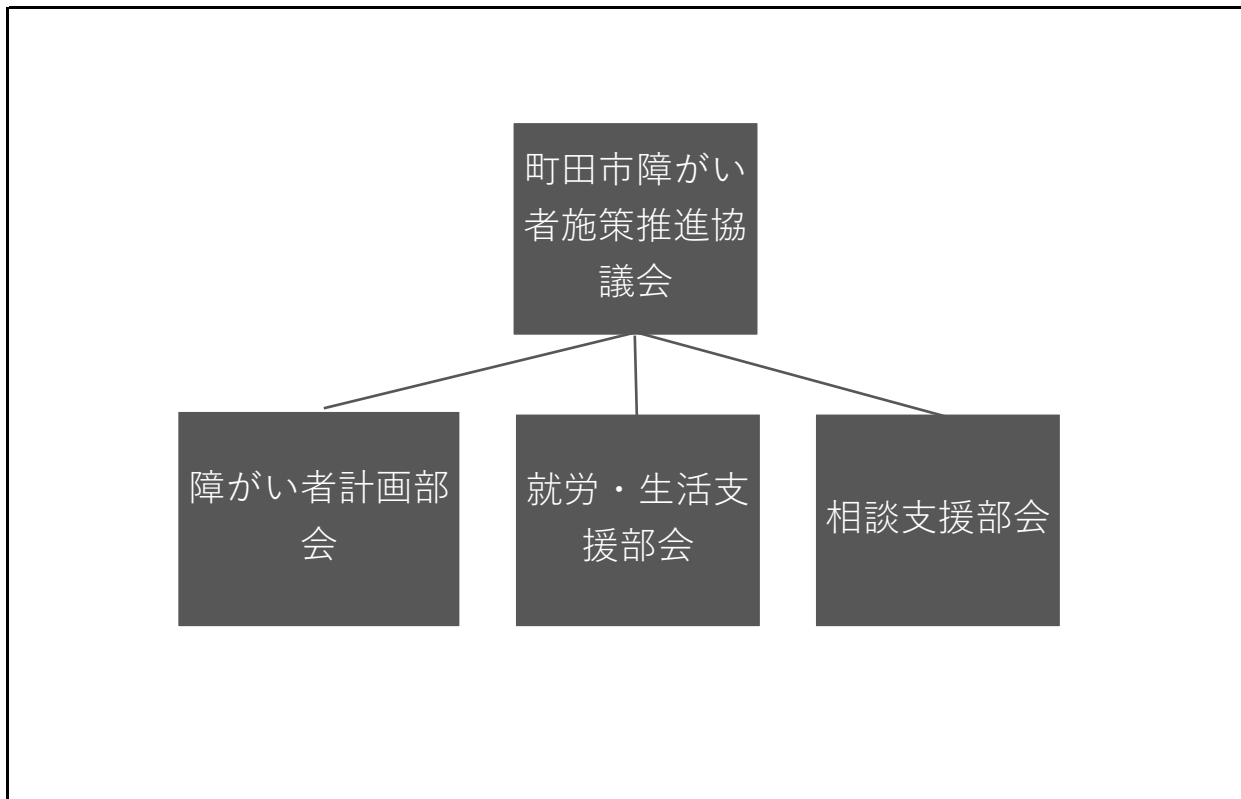
町田市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 町田市障がい者施策推進協議会

(2) ホームページURL https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/syougai_hukushi/syougaitorikumi/syougaihukusikyougikai.html

(3) 組織図



2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所属	種 別	備考	経験年数
1	会長	石渡 和実	東洋英和女学院大学	学識経験者		4
2	職務代理	谷内 孝行	学校法人 桜美林学園	学識経験者		10
3		佐藤 繭美	学校法人 法政大学	学識経験者		10
4		小泉 広子	学校法人 桜美林学園	学識経験者		2
5		中川 種栄	町田市医師会	医療関係者		12
6		松崎 重憲	町田市歯科医師会	医療関係者		5
7		小野 浩	まちされん	家族・関係団体		15
8		藤井 雅巳	町田市社会福祉法人施設等連絡会	家族・関係団体		3
9		叶内 昌志	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	社会福祉協議会		3
10		刑部 輝	堺地域障がい者支援センター	障害福祉サービス等事業者		3
11		藤本 英理子	町田市障がい者 就労・生活支援センターりんく	障害福祉サービス等事業者		3
12		堤 愛子	町田ヒューマンネットワーク まちだ在宅障がい者 チェーンの会	障害当事者（ピアサポーター含む）		15
13		風間 博明	町田市身体障害者福祉協会	障害当事者（ピアサポーター含む）		15
14		辻 悠佳	町田市聴覚障害者協会	障害当事者（ピアサポーター含む）		1
15		土田 由紀子	町田市障がい児・者「親の会」連絡会	家族・関係団体		3
16		飯長 喜一郎	特定非営利活動法人 町田市精神障害者さるびあ会	家族・関係団体		3
17		荻野 淳子	町田市民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員		3
18		陶山 慎治	町田商工会議所	その他		3
19		福元 太郎	東京都立町田の丘学園	教育関係機関		1
20		湯地 幹彦	町田公共職業安定所	雇用関係機関		1

(2) 委員構成

種 別 \ 全体会・部会名	全体会	障がい者 計画部会	就労・生活支 援部会	相談支援 部会
学識経験者	4	1	1	1
医療関係者	2			
保健所	0			
教育関係機関	1	1	1	
雇用関係機関	1		1	
企業	0			
障害当事者（ピアサポーター含む）	3	6		1
家族・関係団体	4	3	5	5
身体・知的障害者相談員	0			
相談支援事業者	0			
障害福祉サービス等事業者	2			
社会福祉協議会	1	1		1
法曹関係者	0			
民生委員・児童委員	1			
地域住民	0			
行政職員（区市町村）	0			
行政職員（都）	0			
その他	1		2	
計	20	12	10	8

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

・専門部会からあがった課題をふまえ、市における障がい福祉分野の課題についてグループワークで意見交換を実施

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

- ・「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」の制定について
- ・町田市障がい者差別解消調整委員会の発足について
- ・差別解消に向けた障がい理解の取り組みについて

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

- ・町田市障がい者プラン21-26における2023年度実績の振り返り
- ・町田市障がい者プラン21-26における2024年度取り組み状況の報告・協議

⑭ その他（差別及び虐待案件について）

- ・2023年度町田市における障がい者虐待の状況について
- ・2023年度町田市における障がい者差別の状況について

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

- ・各専門部会からの検討状況の報告・共有
- ・委員からの情報提供

⑥ 課題解決に向けての検討

- ・専門部会からあがった、市における障がい福祉分野の課題についてグループワークを実施

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

・町田市障がい者プラン21-26の進捗管理

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

・グループワークの実施

② 社会資源の開発及び改善

・グループワークの実施

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

・グループワークの実施

⑬ その他（グループホームについて）

・グループワークの実施

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等（複数回答）

⑤ 地域生活支援拠点等の整備、コーディネーターの配置等、地域生活支援拠点等の整備や機能の充実について検討・検証を行った。

相談支援事業所、短期入所事業所に呼びかけて、地域生活支援拠点等の登録を促し、地域生活支援拠点等連絡会を開催して、整備にむけて検討した。

(2) 地域で生活する当事者の声の反映（複数回答）

⑦ 東京都自立支援協議会の活動（地域自立支援協議会交流会、自立支援協議会担当者連絡会等）を通して情報を収集している。

自立支援協議会担当者連絡会や自立支援協議会セミナーへ出席した。

(3) ICTの活用（複数回答）

① 当事者等が集合形式での参加が難しい場合、ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）で会議を実施

・当事者等が集合形式での参加が難しい場合、ハイブリッド形式で会議を実施

④ 会議資料をデータ配布、画面共有等により提供（紙を使用しない。）

・当事者への配慮も考え委員の資料は紙配布も行っているが、事務局分の資料は紙削減のため原則データでの配布

5 地域移行・地域生活支援の取組

（１）施設入所者・長期在院者等の実態把握（複数回答）

⑤ その他（病院訪問）

精神科病院に出向き、病院関係者から入院患者の状況について聞き取りを行った。

（２）利用しているサービス等（複数回答）

④ 施設や病院からの働きかけ

施設や病院からの働きかけが行われていると聞き取った。